

平成29年度新規研究テーマ(案)概要

特定研究テーマ(研究内容及び研究成果を特定する研究テーマ)

| | 研究テーマ(項目) | 背景・課題 | 研究内容(案) | 期待する成果・効果 |
|---|-------------------|--|---|--|
| 1 | 鋼床版の疲労耐久性向上に関する研究 | <p>長大橋梁や軟弱地盤上に架設される橋梁はもちろん地震の多いわが国では死荷重の低減が極めて有利であること、またプレファブ化が容易なために工期短縮が可能なことなどから、鋼床版に対するニーズは高い。また、経年劣化したコンクリート床板を更新する際に、軽量化による下部工への負担軽減と、交通規制を要する工期短縮の面から、鋼床版構造は効果的であるとされている。</p> <p>しかしながら、近畿管内の橋梁点検において、横桁と鋼床版縦リブとの溶接部に疲労亀裂を多く確認していることから、鋼床版の疲労耐久性の向上が課題となっている。</p> | <p>鋼床版のメリットを活かしつつ、疲労に対する耐久性が高い構造を提案する。さらに、その疲労耐久性の検証方法についても提案し、信頼性の向上を図る。</p> | <p>疲労亀裂に対して耐久性の高い鋼床版に関する設計の確立。</p> <p>また、便覧の改定に向けた基礎資料の作成。</p> |

自由研究テーマ(研究テーマの範囲のみを指定する研究テーマ)

| | 研究テーマ範囲 | 研究テーマ例 |
|---|--------------------------|--|
| 1 | ITSを用いた道路交通システムへの新たな活用方策 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 緊急車両の運行や公共交通、歩行者等に対する支援への活用の検討。 ○ 各種プローブ情報の共有・連携による渋滞削減、交通事故削減への可能性の検討。 |
| 2 | 道路事業の概略設計段階におけるCIMの有効活用 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 属性情報を加えた3次元モデルによる設計の効率化に関する検討。 |
| 3 | (指定範囲なし) | (道路の整備、維持管理、更新等に係る新しい技術の開発・研究に関する研究) |